

～誰一人取り残されない学びの実現に向けて～

令和7年4月 千代田区教育委員会

近年、様々な事情により学校や教室に通うことが難しい児童・生徒の数が増えており、全国的に喫緊の課題となっています。千代田区では、不登校対策事業として「校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）」「はくちょう教室」「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）」「フリースクール等民間施設との連携」を4つの柱として未来を担う千代田区の一人一人の子どもたちが誰一人取り残されずに教育を受けることができる「多様な学びの場」を整えています。

令和5年度まで

家庭への支援
スクールカウンセラー（SC）
スクールソーシャルワーカー（SSW）
登校サポーター



学校

登校



家庭

通室



白鳥教室（適応指導教室）

個別最適な学び
適応指導員による個に応じた学びに対応

令和6年度から 児童・生徒一人一人のニーズに対応し、多様な学びの場を確保します！



①校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）

自分のクラスに入りづらい児童・生徒が落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を区内の全ての学校内に設置します。教科の特性や学習状況に応じて学級から配信されるオンライン授業に一人一台端末を活用して受けることもできます。

問い合わせ先
各小・中・中等教育学校の担任や副校長まで

②はくちょう教室（適応指導教室）

集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導を行い、社会的自立に資することを基本とします。

【学習環境】

- (1) 校種別の教室を設置します（小学校・中学校）。
- (2) 個別学習室を設置します。
- (3) フリースペース（軽い運動・グループ活動・談話）を設置します。

問い合わせ先
各小・中・中等教育学校の担任や副校長まで
はくちょう教室 03-3256-8446

③バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）

VLP は3D メタバース空間により構築されたバーチャル空間であり、PC やタブレットなど GIGA 端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。児童・生徒の日常的な利用を想定し、様々なコミュニケーション機能を実装しています。また、VLP 上では、自学自習の WEB 教材や、プログラミング教材など様々な学習コンテンツを有しており、利用者は自身の学習状況に応じたコンテンツを利用可能です。

問い合わせ先
各小・中・中等教育学校の担任や副校長まで
千代田区教育委員会事務局子ども部指導課 03-5211-4286



教科の特性や学習状況に応じて各学校から配信されるオンライン授業に家庭から参加することが可能です。



サポートがあれば登校できる児童・生徒に対して大学生のボランティアをサポートとして派遣し、朝の登校の支援及び登校後の寄り添い支援を行うことにより、児童・生徒が安心して登校することができるようにします。

家庭



スクールカウンセラー（SC）

学校に臨床心理士等の専門家を派遣し、児童・生徒・家庭に対して支援を行います。



スクールソーシャルワーカー（SSW）

教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童・生徒・家庭の支援を行います。

④フリースクール等民間施設との連携

教育委員会及び学校がフリースクール等民間施設と定期的に情報交換会を行い、子どもの学びを支えています。